

様式第2号（第5条関係）

平成29年 8月31日

出張報告書

栗山町議会議長

様

栗山町議会議員 久西勝博



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成29年 8月 23日 ~ 平成29年 8月 23日まで
- 2 旅行先 札幌市 北海道大学政策大学院
- 3 目 的 2017 地方議員向けサマースクール 受講
- 4 関係書類 別紙のとおり



平成 29 年度政務活動報告書 2

平成 29 年 8 月 23 日

大西 勝博

日時 平成 29 年 8 月 23 日 午後 1 時～午後 6 時 30 分

場所 札幌市北区北 9 条西 7 丁目 北海道大学公共政策大学院

主催 (株)道銀地域総合研究所

調査項目 「2017 地方議員向けサマースクール」受講 55 名

対応者 高野 伸栄氏 北海道大学公共政策大学院院長

笠松 拓史氏 前北海道大学公共政策大学院教授

元総務省自治財政局理事官

北海道大学公共政策学研究センター研究員

鈴木 直道氏 夕張市長

小西 砂千夫氏 関西学院大学人間福祉学部教授

〈座 学〉

◆夕張の破綻から学ぶ「道内市町村に今求められる財政運営」

講師 笠松 拓史氏

◆夕張市の財政破綻と再生に向けた取り組み

講師 鈴木 直道氏

◆人口減少社会における地方財政

講師 小西 砂千夫氏

背景

夕張市が財政破綻して10年が経過し、隣町である本町も少なからず影響を受けていると感じており、人口減少社会がどんどん進むと危惧される中において何らかの指針を探り出せればと考え今回の講座に参加しました。

考察

夕張市が、〈多額の実質赤字を抱えるに至った要因〉として

- 1 炭鉱閉山による人口減少に伴い歳入が大幅に減少した。
- 2 歳出規模の拡大
 - ① サービス水準の見直しが大きく立ち遅れたこと
 - ② 組織のスリム化が大きく立ち遅れ、総人件費の抑制も不十分であったこと
 - ③ 観光施設整備による公債費等の負担、三セクの運営への赤字補てんの増大等
- 3 不適正な財務処理
 - ・会計間で年度をまたがる貸付・償還を行うことで赤字決算の先

送り

以上が、夕張市が財政再建計画（H19.3.6）による破綻についての分析であり、多額な債務超過により財政健全化法の適用となった全国で唯一の自治体であります。ただ 10 年が経過した中で少しずつではありますが、鈴木夕張市長が座学の中で申されているように、行政・議会・住民が将来を見据えて着実にビジョンを遂行されているようにおもいます。

そうした中で、人口減少社会における地方財政へのチェック・監査委員による審査の重要性がとりだたされますし、公会計の再考が必要と考えます。